	接置工事施行基準(新旧対照表) 	
新	IΒ	備考
排水設備工事施行基準 (2024.6 改正版)	排水設備工事施行基準 (2023.6 改正版)	【修正】
鹿児島市水道局	鹿児島市水道局	改正年月を変更

表 3-7 排水横枝管及び排水立て管の許容最大器具排水負荷単位

	受 け	持ちうる許容	最大器具排水	負荷単位数					
管径	,	3階建又はブラ	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	を超える場合					
[mm]	排水横枝管 a)	ンチ間隔3を有	1立て管に	1階分又は1ブランチ					
		する1立て管	対する合計	間隔の合計					
30	1	2	2	1					
40	3	4	8	2					
50	6	10	24	6					
65	12	20	42	9					
75	20	30	60	16					
100	160	240	500	90					
125	360	540	1,100	200					
150	620	960	1,900	350					
200	1,400	2,200	3,600	600					
250	2,500	3,800	5,600	1,000					
300	3,900	6,000	8,400	1,500					

| 注記1 伸頂通気方式,特殊継手排水システムには適用できない。

注記2 National Plumbing Code を基に作成したものであるが、その後の米国規格を 参考にして一部変更した。

注^{a)} 排水<u>横主管の枝管は含まない。</u>

SHASE-S 206-2019

表 3-8 排水横主管の許容最大器具排水負荷単位数

管径 [mm]	排水横主管及び	敷地排水管に接網	売可能な許容最大	器具負荷単位数						
	こ う 配									
	1/200	1/100	1/50	1/25						
50			21	26						
65			24	31						
75		20	27	36						
100		180	216	250						
125		390	480	575						
150		700	840	1,000						
200	1,400	1,600	1,920	2,300						
250	2,500	2,900	3,500	4,200						
300	3,900	4,600	5,600	6,700						

注記1 伸頂通気方式,特殊継手排水システムには適用できない。 注記2 National Plumbing Code を基に作成したものであるが、その後の

米国規格を参考にして一部変更した。

SHASE-S 206-2019

表 3-7 排水横枝管及び排水立て管の許容最大器具排水負荷単位

	受 け	持ちうる許容	最大器具排水	負荷単位数					
管径 [mm]	排水横枝管 ^{a)}	3 階建又はブラ ンチ間隔 3 を有 する 1 立 て 管	3 階建さ 1 立て管に 対する合計	を 超 え る 場 合 1 階分又は 1 ブランチ 間 隔 の 合 計					
30	1	2	2	1					
40	3	4	8	2					
50	6	10	24	6					
65	12	20	42	9					
75	20	30	60	16					
100	160	240	500	90					
125	360	540	1,100	200					
150	620	960	1,900	350					
200	1,400	2,200	3,600	600					
250	2,500	3,800	5,600	1,000					
300	3,900	6,000	8,400	1,500					

注記1 伸頂通気方式,特殊継手排水システムには適用できない。

注記 2 National Plumbing Code を基に作成したものであるが、その後の米国規格を参考にして一部変更した。

注^{a)} 排水横主管の枝管は含まない。

SHASE-S 206-2009

SHASE-S 最新版に修正

表 3-8 排水横主管の許容最大器具排水負荷単位数

排水横主管及び	敷地排水管に接続	^表 可能な許容最大	器具負荷単位数							
こう配										
1/200	1/100	1/50	1/25							
		21	26							
		24	31							
	20	27	36							
	180	216	250							
	390	480	575							
	700	840	1,000							
1,400	1,600	1,920	2,300							
2,500	2,900	3,500	4,200							
3,900	4,600	5,600	6,700							
	1,400 2,500	1/200 1/100 20 180 390 700 1,400 2,500 2,900	1/200 1/100 1/50 21 24 20 27 180 216 390 480 700 840 1,400 1,600 1,920 2,500 2,900 3,500							

注記1 伸頂通気方式,特殊継手排水システムには適用できない。

注記 2 National Plumbing Code を基に作成したものであるが、その後の 米国規格を参考にして一部変更した。

SHASE-S 206-2009

SHASE-S 最新版に修正

3-2-6

3-2-6

新 ĺΗ 備 考

(6) 湿り通気管

2個以上のトラップ封水を保護するため、器具排水管と通気管を兼用する部分をいう。

(7) 共用通気管

背中合わせ又は並列に設置した衛生器具の器具排水管の交点に接続して立ち上げ、そ の両器具のトラップ封水を保護する1本の通気管をいう。

(8) 返し通気管

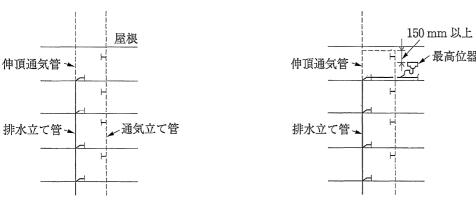
器具の通気管を、その器具のあふれ縁より高い位置に一度立ち上げ、それから折り返 して立ち上げ、その器具排水管が他の排水管と合わさる直前の横走部へ接続するか、又 は床下を横走りして通気立て管へ接続するものをいう。

(9) 通気立て管

ブランチ間隔が2以上で各階の器具に通気管がある場合は、通気立て管を設けて各階 ごとの通気枝管を接続しなければならない。

14.2 通気配管の一般的留意点

- (1) 各個通気方式及びループ通気方式には、必ず通気立て管を設ける。
- (2) 排水立て管は、上部を延長して伸頂通気管とし大気中に開口する。
- (3) 伸頂通気管及び通気立て管は、その頂部で通気主管に接続し、1 箇所で大気中に開口 してもよい。
- (4) 間接排水系統及び特殊排水系統の通気管は、他の排水系統の通気系統に接続せず、単 独に、かつ衛生的に大気中に開口する。これらの排水系統が2系統以上ある場合も同様 とする。
- (5) 排水槽の通気管は、単独に大気中に開口しなければならない。
- (6) 通気立て管の上部は、管径を縮小せずに延長し、その上端は単独に大気中に開口する か (図 3-34(7)), 最高位の器具のあふれ縁から 150 皿以上高い位置で伸頂通気管に接 続する (図 3-34(イ))。



(ア) 単独に大気に開口

伸頂通気管に接続

(SHASE-S 206-2019)

図 3-34 通気立て管上部の処置例

(6) 湿り通気管

2個以上のトラップ封水を保護するため、器具排水管と通気管を兼用する部分をいう。

(7) 共用通気管

背中合わせ又は並列に設置した衛生器具の器具排水管の交点に接続して立ち上げ、そ の両器具のトラップ封水を保護する1本の通気管をいう。

(8) 返し通気管

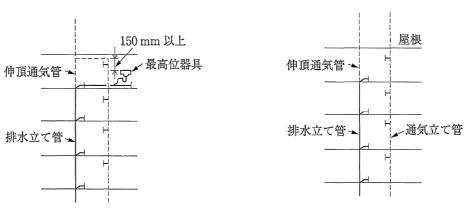
器具の通気管を、その器具のあふれ縁より高い位置に一度立ち上げ、それから折り返 して立ち上げ、その器具排水管が他の排水管と合わさる直前の横走部へ接続するか、又 は床下を横走りして通気立て管へ接続するものをいう。

(9) 通気立て管

ブランチ間隔が2以上で各階の器具に通気管がある場合は、通気立て管を設けて各階 ごとの通気枝管を接続しなければならない。

14.2 通気配管の一般的留意点

- (1) 各個通気方式及びループ通気方式には、必ず通気立て管を設ける。
- (2) 排水立て管は、上部を延長して伸頂通気管とし大気中に開口する。
- (3) 伸頂通気管及び通気立て管は、その頂部で通気主管に接続し、1 箇所で大気中に開口 してもよい。
- (4) 間接排水系統及び特殊排水系統の通気管は、他の排水系統の通気系統に接続せず、単 独に、かつ衛生的に大気中に開口する。これらの排水系統が2系統以上ある場合も同様 とする。
- (5) 排水槽の通気管は、単独に大気中に開口しなければならない。
- (6) 通気立て管の上部は、管径を縮小せずに延長し、その上端は単独に大気中に開口する か (図 3-34(7)), 最高位の器具のあふれ縁から 150 皿以上高い位置で伸頂通気管に接 続する (図 3-34(イ))。



(ア) 単独に大気に開口

(イ) 伸頂通気管に接続 (SHASE-S 206-2009)

図 3-34 通気立て管上部の処置例

3-2-34

(修正)

図 3-34 (ア) と (イ) の図入れ替え

SHASE-S 最新版に修正

											排水	装置工事施 行	厅基準(新旧対照	[表]												
	新												旧							備	考					
		表 3-12 通気管の管径と長さ							表 3-12 通気管の管径と長さ 表 3-12 通気管の管径と長さ																	
					 通 気	管 径	[mm]										通 気	管 径	[mm]					I		
排水管径 [mm]	器 具 排 水 負荷単位数	30	40	50	1 1 1 1					│ 排水管径 │ [mm]	│器 具 排 水 │ 負荷単位数 │	30	40	50	65	75	100	125	150	200		I				
	貝彻 平位 数		•	通気	〔管の	最長日	巨離 [m]					貝們 平位 数			通気	(管の	最長日	巨離 [m]		•		I		
30	2	9	1.5									30	2	9	1									I		
$\begin{array}{ c c c }\hline & 40\\ 40 \\ \end{array}$	8 10	15 9	45 30									40 40	8 10	15 9	45 30									I		
50	12	9	22.5	60								50	12	9	22.5	60								I		
50	20	7.8	15	45								50	20	7.8	15	45								I		
65	42	-	9	30	90	190						65 75	42	_	9 9	30 20	90 60	100						I		
75 75	10 30	_	9	30 18	60 60	180 150						75	10 30	_	ย	30 18	60 60	180 150						I		
75	60	_		15	24	120						75	60	-		15	24	120						I		
100	100	-		10.5	30	78	300					100	100	-		10.5	30	78	300					I		
100 100	200 500	_		9	$\begin{array}{c c} 27 \\ 21 \end{array}$	75 54	$\begin{array}{c} 270 \\ 210 \end{array}$					100	200 500	_		9 6	$\begin{array}{c} 27 \\ 21 \end{array}$	75 54	$\begin{array}{c} 270 \\ 210 \end{array}$					I		
125	200	_			10.5	24	105	300				125	200	_		U	10.5	24	105	300				I		
125	500	_			9	21	90	270				125	500	-			9	21	90	270				I		
125	1,100 350	_			6	15	60 60	210 120	390			125 150	1,100 350	_			6 7.5	15 15	60 60	210 120	200			I		
150 150	620	_			7.5 4.5	15 9	37.5	90	330			150	620	_			4.5	9	37.5	90	390 330			I		
150	960	_				7.2	30	75	300			150	960	-				7.2	30	75	300			I		
150	1,900	-				6	21	60	210	000		150	1,900	-				6	21	60	210	000		I		
200 200	600 1,400	_					15 12	45 30	$150 \\ 120$	390 360		200	600 1,400	_					$\begin{array}{c} 15 \\ 12 \end{array}$	45 30	150 120	390 360		I		
200	2,200	–					9	24	105	330		200	2,200	-					9	24	105	330		I		
200	3,600	-					7.5	18	75	240		200	3,600	-					7.5	18	75	240		I		
250 250	1,000 2,500	_						$\begin{array}{c c} 22.5 \\ 15 \end{array}$	37.5 30	300 150		250 250	1,000 2,500	_						$\begin{array}{c} 22.5 \\ 15 \end{array}$	37.5 30	300 150		I		
250	3,800	_						9	$\frac{30}{24}$	105		250	3,800	_						9	$\frac{30}{24}$	105		I		
250	5,600					lim III i		7.5	18	75		250	5,600					lan II a		7.5	1	75		I		
注記 N	ationalPlumbing	gCode,	ASA A	<u>A40.8に</u>	<u>よるが,</u>	一部修」	Eした。					<u>注記 N</u>	ationalPlumbing	Code, 1	ASA A	140.8に	<u>よるが,</u>	一部修	Eした。				i	SHASE-S 🛔	事新版	に修正
							S	HASE-S	3 206- <mark>20</mark>	<mark>19</mark>									S	HASE-S	3 206-20	009			12 1/1/12	
 注1)	非水ポンプのみフ	ならず,	空調機	器や類似	以の機械	器具から	の吐出	水も,同	引じく 3	.80/		 注1)	非水ポンプのみか	ならず,	空調機	器や類似	人の機械	器具から	らの吐出	水も,『	司じく 3	3.80/				
分ご	ごとに2単位とっ	する。										分ご	ごとに2単位とす	ra。										I		
注2) 通	通気管の長さとに	ま, それ	が単独に	二大気中	に開口で	ける場合	は,排力	く立て管	又は建物			注2) ji	通気管の長さとは	は, それ	が単独に	こ大気中	に開口	する場合	は、排力	水立て管	アは建	物排		I		
水槽	貴主管とその通気	気系統σ	最下端。	との接続	点から	通気立て	管の末	端(大気	開口部	ま		水植	黄主管とその通気	系統の	最下端。	との接続	点から	通気立て	管の末	端(大気	(開口部) ま		I		
での)配管長である。	また,	2本以上	の通気	管が接続	され1	本になっ	って大気	中に立た	5上		での)配管長である。	また,	2 本以」	上の通気	管が接続	売され1	本になっ	って大気	中に立	ち上		I		
げる	6場合は,通気立	て管の	最下端逐	基結点か	ら伸頂は	通気まで	接続する	る配管長	と、その	D接		げる	る場合は,通気な	て管の	最下端。	車結点が	ら伸頂	通気まで	接続す	る配管長	長と, そ	の接		1		
続点	気から大気中に関	開口する	5までの(伸頂通気	の配管	長とを加	算した	ものであ	る (図	3-		続点	気から大気中に関	目口 する	までの作	申頂通気	の配管	長とを加	算した	ものでは	ある(図	3-		I		
46)	0											46)	0											1		
																								1		
																								1		

3-2-41

3-2-41